

一般質問通告書

【第70回定例会】

多可町議会議長 河崎 一 様

多可町議会議員 大山 由郎



受 領 日	番 号
平成 28 年 5 月 27 日	/
午前・午後 8 時 30 分	

質 問 の 項 目 及 び 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1. 地域社会とのつながりを強化せよ	町長
別紙にて	
2.	
3.	

質 問 の 内 容

健康権の定義は「全ての人々が到達可能な最高水準の身体的・精神的健康を享受する権利」と位置付けられている。これからの時代に求められる医療は、疾病構造の変化、地域生活の変化、医師・看護労働の変化からとらえなければならない。

高齢者が病院へ緊急搬送された時、誰と暮らしていたのか、回復したらどこに帰れるのかなどの情報が必要になる。したがって、生活状況をバイタルサインの一部ととらえる必要があると考えられる。緊急時はもちろん、日頃から高齢者の社会的孤立に目を配り、健康や暮らしに寄り添うべきだ。人間らしく生活している証を「ソーシャルバイタルサイン」というが、食生活、人間関係、住居、ライフラインなどをつかむ事がより大切になる。

- ①介護認定を受けていない人の割合を把握しているか。
- ②ケアマネージャーなど、公的な場所とのつながりがない人の対策は。
- ③医療機関との連携で、高齢者のソーシャルバイタルサイン調査に取り組むべきだ。
- ④家族などとスムーズに連絡が行えるよう、病院以外のコミュニティーに繋げるため、「連絡先シール」等を作成し、地域社会とのつながりを強化すべきだ。